

平成 22 年 9 月 15 日

第 30 回高専情報処理教育研究発表会参加報告書

電気電子情報系班 青田広史
原田龍一
中村玲治
機械系班 桶田真司

第 30 回高専情報処理教育研究発表会に参加してきたので、報告する。

1. 目的

本校の情報教育環境整備に役立てるために、他高専の情報教育ならびに情報インフラ環境整備の現状について把握すること。

2. 概要

日程：平成 22 年 8 月 27 日（金）13:00 – 19:30（一般講演、特別講演、懇親会）
8 月 28 日（土）9:00 – 17:00（一般講演、NAPROCK 講演会、閉会式）

会場：長岡技術科学大学

3. 内容

一般講演

第 1 会場 教育実践

第 2 会場 情報サービスシステム開発、IT 教育コンソーシアム、e-learning 等学習環境整備、教育・学習システム開発、語学教育環境整備、システム開発、人材育成

第 3 会場 情報セキュリティ、情報インフラ整備、教育用計算機整備、地域連携

特別講演

講 師 長岡技術科学大学 学長 新原皓一 氏

NAPROCK 産学連携企画

講演題目 「ソフトウェア技術の動向と将来像」

講 師 マイクロソフト（株） 田中達彦 氏

懇親会

4. 所感

今回、本校の教育用計算機更新に関する発表を行い、また、他高専の教育用計算機整備に関する発表を中心に聴講を行った。システムの管理を楽にする方策として、シンクライアントや環境復元ソフトの導入が考えられ、これらを導入している高専は多数あるが、本校で採用した商用システムを導入することなく管理コストを削減する方策については、多少は他高専の参考になったのではないかと考えている。（青田）

今発表会で興味深かったものは、松江高専の「セキュリティインシデントとその対応」である。松江高専で起こった学生の個人情報の流出と、学生による P2P ファイル共有ソフトの使用発覚に関するものであったが、本校でも起こりうる可能性のある事例であり、その対応を含めて参考になった。（原田）

この度初めての参加だったが、他高専のネットワーク環境等が参考になる点が多々あり有意義な聴講ができた。また、e-learning 関連の仕事を現在任されているが、moodle の話を多く聞くことができ、今後の運用に向けて役立てていきたいと思う。（桶田）

北九州高専より、プログラミングコンテストのために学生を連れてシンガポールまで行ったという発表がありそのスケールの大きさに対し大きな興味を持ちました。その他さまざまな発表についても興味を持ちました。懇親会においては長岡技大の和太鼓サークルによる演奏が発表され、非常に力強い演奏に心を打たれました。（中村）